

山形大学基金「やまだい未来へつなぐプロジェクト」  
山形大学医学部創立50周年記念事業

# 山形大学医学部 教育研究支援基金への ご協力について

— 山形大学医学部 創立50周年を迎えて —



山形大学医学部



# 山形大学医学部 創立50周年記念事業への寄附のお願い

～山形大学医学部教育研究支援基金～

謹啓 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より、山形大学医学部の運営につきまして特段のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年2023年（令和5年）、山形大学医学部は創立50周年の節目を迎えます。また1993年（平成5年）に開学した看護学科も設立30周年となります。これまで本学を巣立った医学科学生は4700名、看護学科学学生は1600名を超え、名実ともに、着実に日本の地域医療を支える医系学部へと発展し、かつ研究分野においても数多くの人材を全国に送り出しております。

現在、老朽化した校舎の改築補強計画が進められており、既に基礎研究棟と臨床研究棟は改修が終了していますが、令和5年度には、大講義室の改修が予定されております。この大講義室は、医学部入学式や講演会などを開催する医学部最大の講義室ですが、今回の創立50周年を記念して「50周年記念講堂」として整備する計画となっております。しかし、文科省から予算措置されたのは建物だけで、内部の椅子、舞台、照明などは自己資金によるものとされています。次の50年に向けてしっかりとしたものを次世代のために残して活用していただきたいと教職員一同考えております。また、医学部生協の入っている医学部会館、図書館、事務棟も改修予定です。今後は、学生自習スペースを十分確保し、客観的臨床能力試験（OSCE）などの公的試験にも十分対応可能であり、卒業生やメディカルスタッフの皆さんとの協働スペースとして利用可能なYU-MAIセンター（Yamagata University faculty of Medicine Advanced Innovation Center）、「飯田キャンパス全体をイノベーション・コモンズ（共創拠点）へ」をコンセプトとして、4階建ての多機能・複合施設として整備する予定です（2022年度着工、2025年度から運用予定）。

今後の益々の発展と飛躍の礎を築き上げ、さらに強固なものとするために、何卒、本基金の趣旨にご理解、そしてご賛同いただき、格別のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

謹 白

山形大学医学部長 上野 義之  
山形大学医学部附属病院長 土谷 順彦

記

## 一、山形大学医学部教育研究支援基金

目的：「50周年記念講堂」の整備を含めた本学における教育環境の整備充実、教育支援、先端研究の推進、医療人育成等の活動支援のために使用する。

一、金額 一口5,000円 1口以上何口でも結構です。

(千円)

寄附目標金額

120,000

以下、寄附金による予定事業内容

- ・創立50周年記念式典の開催（11/24予定）
- ・創立50周年記念講堂の設立（医学部大講義室改修）
- ・YU-MAIセンター1階設備補助（学生の食事用テーブル・椅子等備品の設置）
- ・創立50周年記念誌の発行